

平成28年度 功 勞 賞 受 賞 者

(市町村体育協会推薦)

| 番号 | 氏 名 | ス ポ ー ツ 関 係 歴 | 推薦団体 | 推 薦 理 由 |
|----|--------------------|---|-------------|---|
| 1 | なかむら なおすけ 中村 直資 | 平成18年 5月～22年 5月 上山市体育協会 副会長 平成22年 5月～28年 5月 上山市体育協会 会長 平成28年 5月～現在 上山市体育協会 顧問 | 上山市 体育協会 | 永年にわたり、上山市体育協会副会長並びに会長の要職を務められ、本市で初めて民間から登用された体育協会会長である。専門委員会を設置するなど組織の改革に尽力し、当協会の発展に多大な貢献をされた。また、当会加盟種目別団体上山市弓道会の会長も務められ、団体の活性化を図り、競技の普及・振興に手腕を発揮されている。ベにばな国体では、少年男子チームの監督を務め、近的第3位、総合第6位に導いた。 |
| 2 | かん よしじ 菅 義治 | 平成 6年 7月～28年10月 最上町体育協会 会長 昭和59年 4月～平成20年 3月 最上町スキー振興会 会長 平成16年 5月～28年11月 山形県スキー連盟 会長 | 最上町 体育協会 | 最上町体育協会会長として、22年間の長きにわたり町の体育振興に力を注ぎ、スポーツ少年団活動並び町技であるスキー競技の向上など、多岐にわたり多大なる貢献をされた。 |

(競技団体推薦)

| 番号 | 氏 名 | ス ポ ー ツ 関 係 歴 | 推薦団体 | 推 薦 理 由 |
|----|--------------------|--|---------------------|--|
| 3 | こまつ しげる 小松 繁 | 昭和50年 4月～現在 山形県水泳連盟 普及委員 // (公財)日本水泳連盟公認指導員養成検定委員 昭和61年 4月～平成 6年 3月 山形県水泳連盟 シンクロ委員 平成 6年 4月～現在 山形県水泳連盟 シンクロ委員長 平成 6年 4月～現在 山形県水泳連盟 常任理事 | 山形県 水泳連盟 | 昭和50年より山形県水泳連盟の普及委員として、日本水泳連盟公認指導員養成の検定委員を務め指導員の養成に尽力し、また、小学生を中心とした西村山地区水泳教室の講師を毎年務め、水泳競技の普及と泳力の向上に貢献された。特に、平成4年に本県で開催された「ベにばな国体」では、シンクロ競技に参加する選手の競技力向上のため、他県の選手合宿や研修会に参加し研鑽を重ねて指導力を高め、国体参加選手の演技力向上に尽力された。その後、県内唯一のシンクロ競技のクラブを設立し、シンクロ競技の振興に努めている。 |
| 4 | さかぐち しんいち 阪口 新一 | 昭和56年 4月～23年 2月 山形陸上競技協会 理事 平成23年 3月～現在 (一財)山形陸上競技協会 常務理事 | 山形 陸上競技 協会 | 山形陸上競技協会理事として長年にわたり組織運営に携わり、平成21年から本協会の組織改革検討委員として「法人化」の推進、組織改革に尽力し、平成23年2月29日から法人の常務理事となり、本県陸上競技界の発展に貢献された。陸上競技を通して、山形県スポーツの発展に寄与した功績は大である。 |
| 5 | はせがわ まさる 長谷川 賢 | 平成 2年 4月～18年 3月 山形県ボクシング連盟 事務局長 平成18年 4月～現在 山形県ボクシング連盟 常任理事 | 山形県 ボクシング 連盟 | 長年にわたり、山形県ボクシング連盟の事務局長として、県連の円滑な運営に努められた。また、新庄農業学校、新庄南高等学校の顧問を務め、全国で活躍した選手を多数輩出した。本連盟の発展に寄与された功績は大きい。 |
| 6 | さいとう あつし 齋藤 篤 | 平成 3年 4月～15年 3月 山形県バレーボール協会 幹事 平成15年 4月～現在 山形県バレーボール協会 副理事長(常務理事) 平成 5年 4月～現在 山形県バレーボール協会 審判委員長 昭和58年 4月～平成 5年 3月 山形地区バレーボール協会 審判委員長 平成21年 4月～現在 山形地区バレーボール協会 理事長 平成 5年 4月～21年 3月 国際バレーボール連盟公認審判員 | 山形県 バレーボ-ル 協会 | 平成3年度から山形県バレーボール協会幹事、副理事長(常務理事)並びに審判委員長として、審判登録事務及び協会要覧(名簿)作成を長年担当するとともに、山形地区バレーボール協会理事長として、Vプレミアリーグの開催に中心的に活動するなど協会役員として果たした功績は多大なものがある。また、平成5年度から20年度まで、国際バレーボール連盟公認審判員として国際大会やVリーグで活躍するとともに、審判委員長として後進の指導・育成に尽力した。 |
| 7 | あらかし やすのり 荒木 靖文 | 平成 4年 4月～14年 3月 最北地区体操協会 理事 平成14年 4月～現在 最北地区体操協会 会長 平成14年 4月～現在 山形県体操協会 副会長 | 山形県 体操協会 | 永年にわたり、ジュニア選手育成に尽力され、山形県体操協会副会長並びに最北地区体操協会会長として、体操競技の普及発展や諸事業の運営に貢献された。本県体操界の発展に寄与した功績は誠に顕著である。 |

| 番号 | 氏名 | スポーツ関係歴 | 推薦団体 | 推薦理由 |
|----|-----------------------|--|---------------------|--|
| 8 | うの なおゆき 宇野 直之 | 平成 3年 4月～22年 3月 山形県卓球協会 理事 (上記内審判部長10年) 平成22年 4月～現在 山形県卓球協会 副会長 平成14年 4月～22年 3月 酒田卓球協会 副会長 平成22年 4月～現在 酒田卓球協会 会長 | 山形県 卓球協会 | 氏は、国際審判員資格並びに公認レフェリー資格を取得し、県内大会はもとより世界選手権大会をはじめとする国際大会や全日本選手権等の審判員として大会運営に貢献された。また、それらの経験を活かし、平成11年度から10年間、県卓球協会の審判部長として審判員の育成に尽力され、特に平成19年度から高校生を対象とした公認審判員資格取得のための研修を県内全域で実施し、自ら講師を務め今年度まで4000名以上の高校生公認審判員を養成した。審判員養成は各種全国大会誘致の土台作りとなり、大会運営に多大なる貢献をした。加えて、酒田地区において小学生の普及育成に力を注ぎ、スポーツ少年団の組織率が良好となり、登録人数は全国上位にランクされている。このことは底辺拡大の強化につながり、毎年全国大会に多数の選手が出場する要因となるなど全国的にも高い評価を得ている。 |
| 9 | すずき たつゆき 鈴木 辰之 | 平成元年 4月～ 9年 3月 山形県野球連盟 評議員 平成 9年 4月～24年 3月 山形県野球連盟 理事 平成24年 4月～現在 山形県野球連盟 常任理事 昭和61年 4月～平成 9年 3月 米沢地区野球連盟 事務局員 平成 9年 4月～24年 3月 米沢地区野球連盟 事務局長 平成24年 4月～現在 米沢地区野球連盟 理事長 平成 9年 4月～現在 米沢市体育協会 評議員 | 山形県 野球連盟 | 長年にわたり、山形県野球連盟、米沢地区野球連盟役員として県野球連盟の発展に尽力し、平成3年9月米沢市で開催された第35回高松宮賜杯全日本軟式野球大会、平成4年10月同市で開催された第47回国民体育大会軟式野球競技、平成27年6月本県で開催された第37回東日本軟式野球大会の全国大会、平成15年7月米沢市で開催された都市対抗野球東北二次予選会の東北大会並びに山形県総合体育大会をはじめとした各種県大会での運営に競技役員として力を発揮し、本県スポーツ界特に野球界の発展に多大な貢献を成した。 |
| 10 | ささき きよつぐ 佐々木 清次 | 昭和53年 4月～63年 3月 尾花沢市ソフトボール協会 理事 昭和63年 4月～平成 8年 3月 尾花沢市ソフトボール協会 理事長 平成 8年 4月～20年 3月 尾花沢市ソフトボール協会 副会長 平成20年 4月～現在 尾花沢市ソフトボール協会 会長 平成 2年 4月～20年 3月 最北地区ソフトボール協会 理事・副理事長 平成20年 4月～24年 3月 最北地区ソフトボール協会 副会長 平成24年 4月～28年 3月 最北地区ソフトボール協会 会長 平成24年 4月～28年 3月 山形県ソフトボール協会 副会長 | 山形県 ソフトボール 協会 | 尾花沢市ソフトボール協会設立当初より、理事、理事長、副会長、会長の任に当たられ、また、この間最北地区ソフトボール協会並びに山形県ソフトボール協会の要職を歴任された。ベにばな国体やねんりんピック等その他各種大会の審判を務められ、若手審判員の技術向上に尽力し、各協会の運営にも貢献された。現在は、山形県協会顧問並びに尾花沢市協会会長として、ソフトボール競技の普及発展に寄与された功績は大である。 |
| 11 | よねやま まさかず (故)米山 正和 | 平成元年 4月～ 5年 3月 山形県バドミントン協会 常務理事(強化委員長) 平成 5年 4月～ 9年 3月 山形県バドミントン協会 指導普及委員長 平成 9年 4月～17年 3月 山形県バドミントン協会 副理事長 平成17年 4月～27年 3月 山形県バドミントン協会 理事長 平成27年 4月～28年 8月 山形県バドミントン協会 参与 | 山形県 バドミントン 協会 | 永年にわたり、山形県バドミントン協会の常務理事を務め、バドミントン競技の指導普及発展に努め、協会組織を取りまとめた。その功績は、バドミントン競技のみならず、本県スポーツ界全体の模範となることである。特に、山形県における全国大会の開催、全国へのつながりを重視して、本県だけでなく全国をも取りまとめられた功績は高く評価される。 |
| 12 | かなもり まさゆき 金森 正幸 | 平成 6年 4月～15年 3月 山形県剣道連盟 常任理事 平成12年 4月～27年 3月 山形県剣道連盟 事務局長 昭和62年 4月～平成 7年 3月 山形市剣道連盟 事務局長 平成 4年 4月～14年 3月 山形市スポーツ少年団本部員 | 山形県 剣道連盟 | 平成6年から21年間にわたり、山形県剣道連盟常任理事並びに事務局長としての重責を果たし、本県の武道(剣道・居合道・杖道等)の振興・発展に大きく寄与された。特に、県剣連事業事務処理並びに会計管理について専門性を遺憾なく駆使し、業務の機能化とシステム化を図るなど改善改革に努め、全国及び東北大会の開催をはじめ、大会講習会運営や強化普及等全ての事業推進において多大な業績を残した。 |

平成28年度 功労賞(ライオンズスポーツ賞)受賞者

(競技団体推薦)

| 番号 | 氏名 | スポーツ関係歴 | 推薦団体 | 推薦理由 |
|----|--------------------|---|---------------|--|
| 1 | つばき ひろし 樫 央 | 第72回国民体育大会冬季大会スケート競技会 少年女子 1500m 小竹琉湖・3000m 鈴木杏菜 優勝(山形中央高) 第40回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会 女子チームパシュート 優勝 小竹琉湖・鈴木杏菜・ウイリアムソレミ(山形中央高) 第66回全国高等学校スケート競技選手権大会 スピード競技女子学校対抗 優勝 (山形中央高) 女子チームパシュート 優勝 小竹琉湖・鈴木杏菜・ウイリアムソレミ(山形中央高) 女子2000mリレー 優勝 山口垂実・鈴木杏菜・古川智洋・秋田玲菜(山形中央高) | 山形県 スケート連盟 | 山形県スケート連盟強化部長並びに県立山形中央高等学校スケート部監督として、長年にわたり選手強化に尽力されている。今年度は女子が躍進を見せ、全日本ジュニア選手権でのチームパシュート優勝を皮切りに、インターハイでは2000mリレーを制し、女子チームパシュートで大会新記録を出して優勝し、スピード競技において学校対抗で初の女子総合優勝に導いた。本県スピードスケート界の競技力向上への道を大きく開拓し続けている功績は顕著である。 |
| 2 | きむら ふみひろ 木村 文浩 | 第71回国民体育大会 カヌー競技 少年男子カヤックシングル 200m・500m 優勝 縄空(谷地高) 少年男子カヤックペア 200m・500m 優勝 菊池憲斗・木村大翔(谷地高) 少年女子カヤックフォア200m 優勝 大川七南・吉見優華・吉田衣玖・佐藤友香(谷地高) | 山形県 カヌー協会 | 20年以上にわたりカヌー指導を行い、多くの選手を全国優勝に導いている。その指導は、近代的な指導法に現役時代から培った精神的指導を取り入れており、生徒のやる気を引き出している。また、今回の国民体育大会は、天皇杯、皇后杯ともに総合優勝を果たしている。これまでの実績をみるに、本県スポーツ界への貢献は非常に大きい。 |
| 3 | さとう めぐみ 佐藤 恵 | 平成28年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会 男子カヤックシングル 500m 優勝 菊池憲斗(谷地高) 男子カヤックペア 200m・500m 優勝 木村大翔・縄空(谷地高) 男子カヤックフォア 200m・500m 優勝 菊池憲斗・木村大翔・縄空・鈴木海渡(谷地高) 女子カヤックフォア 200m・500m 優勝 大川七南・吉見優華・佐藤友香・中村天音(谷地高) | 山形県 カヌー協会 | 高校・大学在学中、国体等多くの大会で優勝・入賞を果たし、本県カヌー界を牽引してきた。その後、県立谷地高等学校カヌー部の顧問となり、今年度は女子カナディアンB代表に選出された。その姿は、選手たちの模範となっている。また、今年の全国高等学校総合体育大会では、監督として学校の枠を超えた指導により7種目優勝、男子総合優勝を導き、本県の体育・スポーツ活動に大きく寄与された。 |
| 4 | はしもと よしひさ 橋本 佳久 | JOCジュニアオリンピックカップ平成28年度全国中学生カヌー大会 男子カヤックペア 優勝 設楽勝太・小野隼人(西川中) 男子カヤックフォア 優勝 設楽勝太・小野隼人・佐藤由人・古澤諒(西川中) | 山形県 カヌー協会 | 少数数部員のカヌー一部であり、その特徴を活かし選手たちの個々の力を引き出す指導で、全国大会優勝に導いている。今年度は地元開催ということもあり、期待とプレッシャーの中での闘いであったが、男子カヤックの2冠を皮切りに多くの入賞を果たした。その指導は単に選手の競技指導にとどまらず、あいさつを通じた人間教育や心の育成も合わせ持っている。カヌー競技に取り組む姿勢は、県内高校カヌー界への橋渡しとなり、県スポーツ界の一翼を担っている。 |
| 5 | まつだ じゅんじ 松田 淳司 | 第71回国民体育大会 カヌー競技 少年男子カナディアンシングル 200m・500m 優勝 志田駿太郎(寒河江高) 少年女子カヤックペア 200m 優勝 増川かな・増川知保(寒河江高) | 山形県 カヌー協会 | 県立寒河江高等学校カヌー部監督として、2名の選手が日本代表に選出され、世界大会出場へ導いた。両選手は今年の国民体育大会で、カナディアンシングルをはじめとする3種目で県勢初の優勝を果たした。その指導は基本動作、基礎体力向上に重点を置き、どんな状況でも力を発揮できる選手育成に励んでいる。本県の体育・スポーツ活動に対する貢献は非常に大きなものがある。 |

平成28年度 感謝状受賞者

(市町村体育協会推薦)

| 番号 | 氏名 | スポーツ関係歴 | 推薦団体 | 推薦理由 |
|----|------------------|-----------------------------|-------------|--|
| 1 | かなや まさみ 金谷 正實 | 平成20年 5月～28年 5月 村山市体育協会 副会長 | 村山市 体育協会 | 長年にわたり、村山市体育協会の副会長を務められ、組織の運営・発展に大きく貢献され、本市スポーツの普及・振興に尽力された。また、当協会副会長の他に、平成21年4月から27年3月まで村山市陸上競技連盟会長を務められ、本市陸上競技の普及・振興のために寄与された。 |

(競技団体推薦)

| 番号 | 氏名 | スポーツ関係歴 | 推薦団体 | 推薦理由 |
|----|-------------------|--|--------------|--|
| 2 | じぬし ともあき 地主 友昭 | 平成20年 4月～28年 3月 山形県ボート協会 会長 平成12年 4月～15年 3月 山形県高体連 ボート専門部部长 | 山形県 ボート協会 | 山形県高等学校体育連盟部長(ボート)時代より、ボート競技の普及振興に尽力され、平成20年度からは山形県ボート協会会長として、本協会の発展に特に貢献された。県立酒田西高等学校校長時より、県協会に携わっていただき、ボート競技に関わる全員からの厚い信頼があった。東北ボート連盟においても、本県代表として尽力された。 |